

廃棄物学

(必修)

環境科学系

宮脇 健太郎

第9回 ごみ処理と住民意識

ごみ処理施設に対する住民意識

ごみ処理施設建設の困難さ

- ごみ処理施設 「迷惑施設」
- 昔 煙, 悪臭 反対される十分な理由
- 高度成長期 ごみ量急増
- 江東区 杉並区のごみ受け入れ拒否
- 「ごみ戦争」1971年 「非常事態」
- 沼津市, 広島市「ごみ非常事態宣言」
- 第一次ごみ戦争と総称

- 1980年代末 第二次ごみ戦争
- 例) 1989 千葉市のごみ→青森県
- ごみの越境移動, 域外ごみ持ち込み
- ごみ処理施設の建設・運転, 住民の異議申し立てが急増
- 1990年代後半 ダイオキシン問題, 埋立地遮水に対する不信感
- 新たな施設の建設はますます困難

迷惑施設に対するNIMBY反応

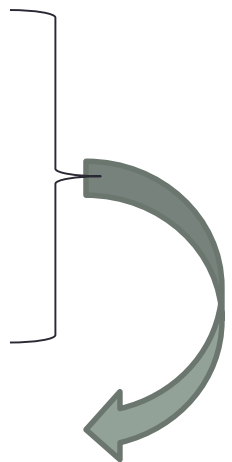
- **NIMBY** (Not In My BackYard)「私の裏庭はダメ」
 - ごみ処理施設の必要性
 - 近くに建設は反対
- 個人だけでなく、地域・自治体
 - 例 杉並区 VS 江東区
 - 東京の負担を江東区がという不満
 - 杉並では立地選定プロセスの不明瞭

- ごみ処理施設 公共的施設
- 行政から反対する住民
 - 「わがまま」「総論賛成・各論反対」
 - 住民エゴ, 地域エゴ
 - エゴ: 1 自我。2 「エゴイズム(利己主義)」の略
- 廃棄物処理法の下「域内処理, 自区内処理」が原則とされてきた

NIMBY 関連, 類似表現

- LULU
- NIMET
- BANANA
- CATNAP, BATNEEC
- NIABY
- NOPE

ごみ処理施設に対する住民意識

- 住民が反対する理由
 - 物理的な影響を意識
 - 水・大気汚染による健康リスク
 - 悪臭, 騒音による不快さ
 - 生態系などの環境変化
 - 非物理的影響
 - 経済的影響(地価下落), 社会的影響(イメージ低下), 政治的影響(公正さ欠如, 不信)
- 

- プラス面

- 施設建設に伴う**利便施設**の整備, **雇用**創出, **エネルギー回収**など

- 一般 **プラス面 < マイナス面**

- 物理的影響 → 住民の知覚 → 住民の態度

- Impact → beliefs → attitude judgment
- 物理的影響(汚染) → 精神的ストレス, 健康リスクに対する不安

- 住民の態度 物理的影響があるか, 発生確率・影響の大きさとは関係ない
- 騒音, 悪臭景観 地域イメージ低下 → 強い反対につながることもある
- 現在の廃棄物処理施設から明らかな環境影響は少ない → 危険であると信じる, 社会的, 政治的影響が反対の主要因

- 大部分の住民 施設は必要 「公の」論理
- 「迷惑」が近く→実感→反対感情
- NIMBY「自分勝手だ」とのニュアンス
- 「住民エゴ」現実を認識した結果
- 行政がNIMBYで片付ける 思い上がり
- 行政と住民のギャップを埋めるには、住民の立場、気持ちをくみ取ることが必要

ごみ処理施設に対する住民のイメージ

- 「ごみ」

- イメージ: 黒, 灰色, 茶色
- 実際: プラスチックと紙 白い
- 暗色 → 汚さ, 嫌悪感

- アンケート調査

- ごみ処理施設, 埋立地 → 悪いイメージ
- 一般市民 施設見学前後 反対意見が緩和

施設へ連想される言葉(テキストP115図)

- 焼却施設

- 排気・煙, 臭い, ダイオキシン
- 熱利用
- 悪いイメージのみではない

- 埋立地

- 臭い, カラス, 汚い, 怖い, 不安, 不信
- 広大な土地, 公園, 跡地利用
- 大部分は否定的

- ゴミ処理施設，特に埋立地に対して悪いイメージ
- 現在，埋立地は衛生的，悪臭・カラス問題無し
- 焼却施設 高度なガス処理，悪臭無し
- 十分な知識を持たず，先入観によって悪いイメージ
- 施設見学すると，心配の度合いが減少することが確認されている

施設周辺住民の反対理由

- 施設からの影響

- 生活環境, 健康影響, 社会・経済面, 自然環境, 事故など

- 行政・業者の対応

- 住民対応, 住民配慮の不十分さ
- 計画の悪さ
- 不適正な処理
- 管理の不十分さ
- 過去の経緯

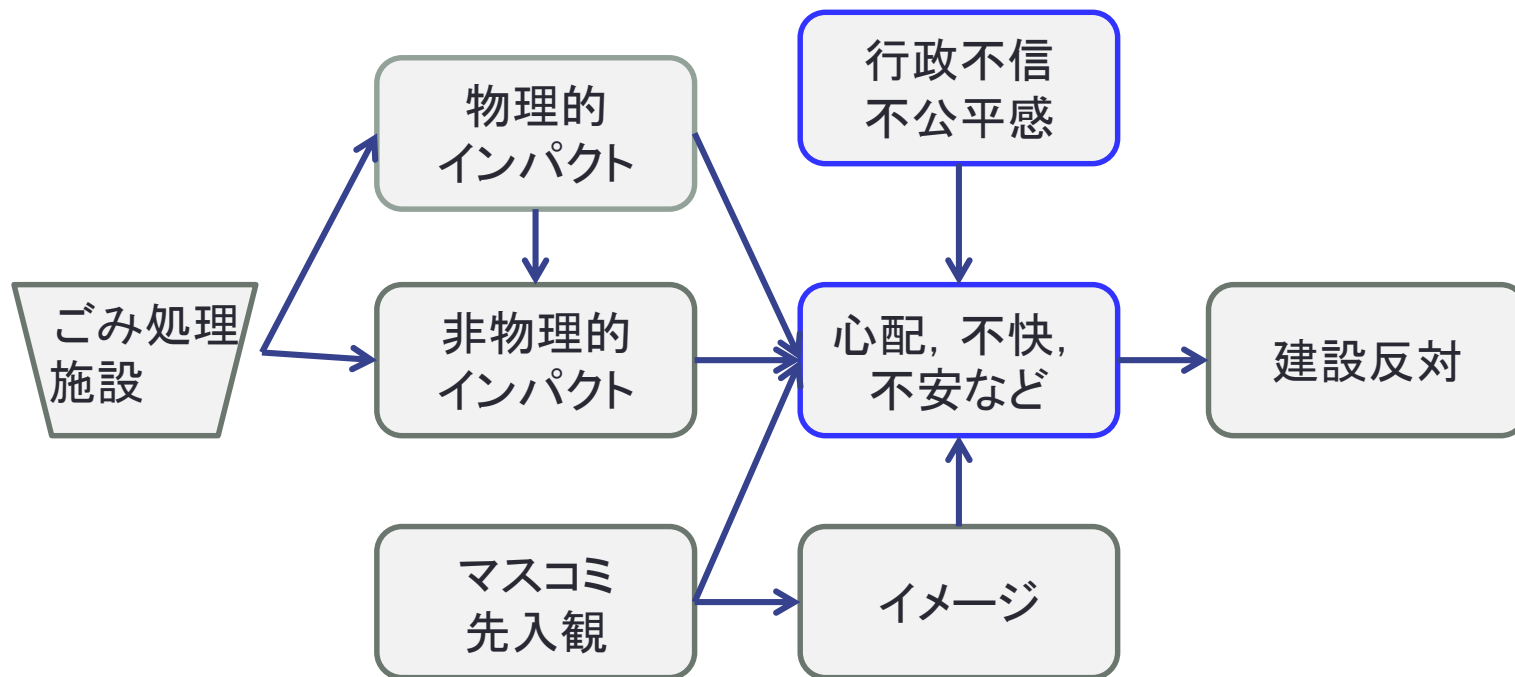
受容される施設の例

- 安全・安心であること
- 行政・業者の対応がよいこと
- 例) 公害防止協定の遵守, 測定値の公表, 苦情に対する迅速な対応, 施設建設前の十分な話し合い, 見学の常時受け入れ, 地域行事への積極的な参加・協力

ごみ処理施設が受け入れられる条件

- 市民はごみ処理施設に対して**否定的なイメージ**
- マスコミ情報 正しいとは限らない, **偏った情報**
- 「住民は物理的影響を誇張してとらえる傾向にあり, **リスクの小さな影響が, 強い反対の引き金になる。**」
- 定期的な**監視・測定結果の公表** → **安心感**

ごみ処理施設に対する反対の構造



- 住民参加, 住民関与の必要性
- 「情報の**透明性**」の不足が問題
- 信頼は一つの不誠実さの発覚で簡単に失われる。
- **正しい情報と理解**が前提

演習(時間内課題:LMS提出)

- 1)ごみ処理施設は「迷惑施設」として昔から反対運動が起きていた。東京杉並区・江東区で1970年代に起きた事例では()と言われ()戦争とまで表現された。
- 2)1980年代には千葉市のごみが青森まで運ばれ, ごみの()と言われた。
- 3)公共施設ではあるが迷惑施設となっているものを反対する言葉として():略称)「私の裏庭はダメ」が挙げられる。
- 4)地域間で問題が発生する一つの要因として, 廃棄物処理法の下で「域内処理, ()」が原則とされてきたことが挙げられる。

演習(時間内課題:LMS提出)

- 5)ごみ処理施設に住民が反対する理由として()影響と()影響がある。
- 6)反対の非物理的影響としては, 経済的影響(地価), ()影響(イメージ), ()的影響(不信)などが挙げられる。
- 7)現在の廃棄物処理施設から明らかな環境影響は少ないが, 危険であると信じる, ()的, ()的影響が反対の主な要因である。
- 8)「住民は物理的影響を誇張してとらえる傾向にあり, リスクの()影響が, 強い()の引き金になる。」定期的な測定結果の公表などが()を生む。

課題(授業外LMS提出)

宿題

住む町にある埋立地，焼却施設の場所をHPなどで調べてください。どのような場所(人家からの距離，街中心部からの距離など)に建設されていますか。(400字程度)